紫波ネット1015号 令和元年9月11日発行 ｜ 〒028-3392紫波町紫波中央駅前二丁目3-1 ｜ 編集・印刷 川嶋印刷株式会社 ｜ http://www.town.shiwa.iwate.jp/

紫波ネット 9

人と地域をつなぐ広報紙

2019・No.1015
｜岩手県紫波町｜

HPはこちら

人が好き、本が好き 図書館の仕事が好き

今月の表紙

紫波町図書館　司書
藤原 幸恵さん（赤石地区在住）

紫波町図書館開館当初から司書として勤務する藤原さん。「地元で好きな仕事ができ、利用者とコミュニケーションを取りながら働けることがとても楽しいです。利用者が求める情報を提供し、喜んでいただけたときはやりがいを感じます。図書館は利用者とともに変化し、成長し続けているので、ぜひ足を運んでほしいです」と語りました。

特集

今、図書館がおもしろい 来て、見て、調べて、楽しもう！

09「紫波町デマンド型乗合バス」運行に向けた実証実験を実施します
10 東京オリンピック事前キャンプ誘致を目指して ｜ 14 体協だより
23 豊かな公が息づくまち ｜ 26 あづまねマウンテントレイル2019

今、図書館がおもしろい 来て、見て、調べて、楽しもう!

主任司書／吉田 めぐみさん
「調べる力は生きる力」
図書館を人生のあいぼうに!
『ワンダー』R.J.パラシオ／著、中井はるの／訳(ほるぷ出版)

司書／竹田 美幸さん
お探しの本、
一緒に探します。
『ネコヅメのよる』町田尚子／著(WAVE出版)

司書／塩澤 彩夏さん
どんなときでも
気軽に来館してください。
お待ちしています。
『鼻/外套/査察官』ゴーゴリ／著、浦雅春／訳(光文社)

司書／梅澤 幸さん
かたくり号も走っています。
『絶対に人に見せてはいけない職員手帳』日野の魅力発見職員プロジェクトチーム／編(日野市)

紫波町図書館館長(中央)と司書の皆さん。おすすめの本とともに

紫波町図書館
SHIWA PUBLIC LIBRARY

●開館時間
▷火～金
午前10時～午後7時
▷土・日・祝日
午前10時～午後6時

●休館日
▷毎週月曜日（祝日にあたるときは翌日）
▷館内整理日（月末最後の平日）
▷年末年始（12月29日～翌年1月3日）

●問合せ
☎671-3746
(みんなよむ)

紫波町図書館は、平成24年8月31日に開館し、今年で7周年を迎えました。多くの町民の図書館に対する熱意の高まりを反映し、「オガールプロジェクト」の重要施設と位置付けられた町民念願の図書館。

「知りたい」「学びたい」「遊びたい」を支援する図書館として、子どもたちと本をつなぐこと、地域資料の収集を行うこと、町の産業を支援することを運営の3本の柱に、創意あふれる多彩な企画運営を進めてきました。町図書館の活動は町内外から高く評価され、6月には図書関係団体の世界最大級の大会「アメリカ図書館協会2019年次大会（ALA2019）」で、地域に必要とされる図書館のあり方について事例発表を行いました。

町図書館は本を借りたり、調べものをしたりするだけでなく、独自の特長ある活動を展開しています。

一般書	児童書	地域資料	登録者総数	実利用者数
62,443冊	34,441冊	8,404冊	18,101人	343,020人

※数値は平成31年3月末時点。登録者総数と実利用者数には団体を含む。

司書／藤澤 圭さん
親子で安らげるホッとできるような図書館です。
『モモ』ミヒャエル・エンデ／著、大島かおり／訳（岩波書店）

司書／藤原 幸恵さん
地域資料、そして人をつなげるように頑張ります。
『紫波の有線放送とその時代 地域コミュニケーションの核を担った60年（昭和33年～平成30年）』長澤聖浩／著（録繙堂出版）

司書／上宿 真由美さん
充実のセレクトの楽譜コーナーもご利用ください。
『陸奥烈女伝 安倍・清原・藤原三代を支えた母たち』三島黎子／著（ツーワンライフ）

主任司書／手塚 美希さん
あなたのための図書館です。図書館は世界に開いた窓。
『林業現場人 道具と技』全国林業改良普及協会／編（全国林業改良普及協会）

館長／工藤 巧さん
何かあったら図書館へ、何が無くても図書館へ、おでってくなんせ。
『南部杜氏の源流』三島黎子／著（岩手日報に毎週日曜日連載）

調べて、学んで、楽しむ図書館

［主なコーナー］

おはなしのへや
おはなし会をするおへや。家族でゆったり本が読めます

ブックポスト
図書館が閉まっているときに返却するポスト。
※CD・DVDはカウンターへ返却してください。

あかちゃんのへや
赤ちゃん・幼児向けの絵本だけでなく子育てに役立つ情報がいろいろ。

ティーンズコーナー
10代の悩みや「知りたい」に応える本があります。

展示コーナー
今知ってほしいさまざまなテーマの展示

カウンター
本・雑誌・CDなどの貸出、返却、図書館カード登録、各種申し込みの受付

自動貸出機
図書館カードを使って自分で貸出手続きができます。

レファレンス・カウンター
調べもの、探しもの専用の相談カウンター

農業支援
農業情報を調べるならこちら!

主な企画イベント［自主事業］

【おはなし会】
○としょかんおはなし会
月1回(第3土曜日)
町内の読み聞かせボランティアによるおはなし会(幼児～小学生対象)
○おはなしまつり
年1回(9月中旬)…今年は9月21日(土)
町内の読み聞かせのボランティア活動をしている団体が大集合。子どもも大人も楽しめる特別なおはなし会を開催します。

【企画展示】月1回(一般企画・児童企画)
テーマごとに関係者や関連機関などと連携した展示を行います。

【特別・連携展示】不定期
ビアフェストや美術館などのイベントとの関連展示。岩手医科大学附属図書館などさまざまな団体、イベントテーマと連携した展示など。

【児童展示(えほん)】月1回
毎月テーマに合わせて子どもたちとその家族におすすめの絵本などを展示。

【ティーンズ展示】通年
10代におすすめの本を中心に展示。

【旬の本棚】随時
旬の話題について展示を行います。

【講座・研修会】
○夜のとしょかん 年4回
閉館後、さまざまなジャンルのトークゲストの話をお聞きします。(飲み物持込可)
○紫波町図書館調べる学習コンクール
7～10月頃(小中学生対象)
図書館を使って身近な疑問や、不思議に思うこと、興味があることなどを調べてまとめた作品を募集。受賞者が作品発表を行う表彰式(12月7日(土)開催)は、ど

町の人々の幸せを常に考え、実践していきたい

司書インタビュー

主任司書　手塚 美希さん

――図書館をどのように捉えていますか。

図書館はいつか完成するものでも、建物のことでもなく、生きるために必要な「装置」。この装置があることで、過去から現在まで世界中の人々が紡いできた叡智（えいち）や、多様な情報とつながることができ、自分で考え、判断する材料となります。インターネットなどから調べるのが当たり前の時代になりましたが、それだけで解決できるものでもありません。

人と情報をつなぎ、人と人をつなぐことで、大都市にいなくても多様な選択肢と可能性、そして希望が生まれてくるはず。開館から7年が経ち、さまざまな人とコミュニケーションをとることで地域の姿がようやく見えてきました。地域の個性や課題が見えてくると、解決のために司書としてできることは何かを考え始めることができます。

――司書が地域でどんな活動をしているのでしょう。

例えば企画展示は、司書が地域で直接情報をお聞きしています。自分たちの足で出向いて関係者と会い、つながり、コミュニケーションを取ることでしか気付けないことがあり、今後起こってほしいことまで想定しながら行っています。図書館は特定の分野ではなく、森羅万象全て扱っているため、認知症、林業、農業など、さまざまな課題に向き合うことになります。

一人ひとりが知りたいと思うことを、本に限らず入り口から深いところまで案内できるのが司書の強み。地域のニーズに合った情報へつなげることを大切にしています。

企画展示のため、
地域でインタビューする司書

――世界に紫波町図書館の事例を発表したと伺いました。

6月22日に、アメリカ・ワシントンD.C.で開かれた「アメリカ図書館協会2019年次大会（ALA2019）」に参加し、紫波町図書館の特長といえる『地域に密着した活動』を紹介しました。ALA2019は、アメリカ国内にとどまらず世界50カ国から約2万人が参加する国際大会です。世界の取り組みから学び、これからの運営に生かしたいと思っています。

「アメリカ図書館協会2019年次大会（ALA2019）」事例発表テーマ
Towards a Library Where Librarians Are a Community Hub Connecting People
司書が人々をつなぎ地域の要となる図書館を目指して

移動図書館かたくり号
本を載せたバスが町内を巡回しています。毎月の巡回日程は広報『紫波ネットおしらせ版』でお知らせしています。

2F
読書テラス
図書館から本の持ち込みもできる見晴らしの良い空間。
飲食OK

まちづくり
地域の暮らしをもっと楽しくしたい、考えたいと思ったらこのコーナーへ。

要申込
●**インターネット検索**　インターネットを使って調べものができます。無線LANの利用可
●**データーベース検索**　農業、法律、過去の新聞記事、国立国会図書館デジタルコレクションなど特定分野の調べもの・複写ができます。

なたでも参観できます。コンクールの開催に合わせて、学校図書館スーパーバイザーの藤田利江さんを講師に迎え、出張としょかん「調べる学習にチャレンジ」（小学校出前授業）や「ふしぎかいけつ！調べる学習マスター」（低学年・中学年対象講座）などを開催。

○**出張としょかん**　11月～2月頃
町内の公民館へ農山漁村文化協会とともに出張。野菜づくりに関するDVD上映・解説を行うほか、農業に関する資料や図書館の使い方などを紹介します。

○**郷土資料講座**　不定期
紫波町ゆかりの郷土資料からテーマを定めて講座を開催。

企画イベントで見る図書館の活動

企画展示には、一般企画展示・児童企画展示・特別企画展示・こどものうぎょう展示・岩手県内図書館連携企画展示・岩手県立美術館連携展示などがあります。

【2019年】

- ○一般企画展示「わたしの一冊」
- ○一般企画展示「紫波の有線放送を知っていますか？ ―心をつないだ60年―」
- ○岩手県内図書館連携企画展示「煙に巻かない、たばこの話」
- ○一般企画展示「拝啓、この本読んだ？紫波町編」
- ○一般企画展示「大切な人ががんになったら からだと向き合う2」
- ○一般企画展示「シークレット・ブック―オビを楽しむ―」

【2018年】

- ○一般企画展示「紫波のデザインをさがそう」
- ○一般企画展示「わたしの一冊」
- ○一般企画展示「辞書&図鑑フェス-名前のないものはない」
- ○一般企画展示「拝啓 この本読んだ？」
- ○一般企画展示「紫波をさがせ！ 200万冊から宝さがし」
- ○一般企画展示「3月のテツドウ物語」
- ○一般企画展示「なかよししまいとし 古殿・日野・サザンダウンズ」

【2017年】

- ○一般企画展示「シークレットブック―オビは語る―」
- ○一般企画展示「森のしごとが好き！」
- ○一般企画展示「大切な人が認知症になったら からだと向き合う1」
- ○岩手県内図書館連携企画展示「STOP！肥満症」
- ○岩手県立美術館連携展示「花森安治の仕事」
- ○一般企画展示「わたしの一冊 紫波×働く」
- ○一般企画展示「自分の頭で考える―情報の海を泳いでいくために―」
- ○一般企画展示「科学道100冊『知りたい！』が未来をつくる」
- ○一般企画展示「オガールス

一般企画展示「わたしの1冊」

展示期間:令和元年8月1日(木)～9月26日(木)

地域に足りないものを新たにつくり、町での暮らしがより楽しくなる活動をしている方々とおすすめの1冊を紹介。

特別展示「紫波の有線放送を知っていますか？ ―心をつないだ60年―」

展示期間:令和元年8月1日(木)～(展示期間延長)

惜しまれながらも平成30年2月に終了した紫波町・矢巾町の有線放送事業。6・7月企画展示の期間を延長して紹介しています。番組を収録したオープンリールの録音データや、有線放送劇の脚本原稿、また有線放送関係者の皆さんから集めた当時のエピソードなども展示。

一般企画展示「大切な人ががんになったら からだと向き合う2」

展示期間:平成31年2月1日(金)～ 3月28日(木)

日本人の２人に１人が「がん」になる時代。実際に「がん」になったときの相談先、県内のがん患者・家族サロンや家族会、ＡＹＡ(思春期・若年成人)世代のがんなどについて紹介しました。

一般企画展示「拝啓、この本読んだ？紫波町編」

展示期間:平成31年3月30日(土)～令和元年5月30日(木)

気軽に書ける一筆箋で、大切な人と本を紹介し合ってみましょう。紫波町ゆかりの方々が交換し合った一筆箋を、おすすめの本とともに公開しました。

児童企画展示「みんなこどもだった」

展示期間:平成30年1月4日(木)～1月30日(火)

お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんの、子どもの頃の暮らしが分かる本を紹介。「小さい頃どんな遊びをしていたの？」など家族みんなで語り合うことを提案。

夜のとしょかん、第18夜。

8月2日(金) 午後7時30分～8時30分 一般フロア

テーマ:「デザインはまちを元気にする」

ゲストスピーカー:デザイン事務所マルツ工房代表 吉田 つとむさん

夜のとしょかんは、飲み物の持ち込み、おしゃべり自由。「日中いそがしいあなたと“ワクワク”をシェア」がモットー。この日の参加者は約60人と盛況。アメリカ、東南アジア、ヨーロッパと世界を巡り、やがて岩手の良さに気づいたという吉田さんのユーモアあふれる武勇伝に、会場はにこやかな笑顔に包まれ、いつもと違う図書館で、いつもと違うひとときを楽しみました。

調べる学習ってどんなこと？

このコーナーではおおむね小学4年生までに習う漢字を使用しています。

調べる学習マスター2019　7月6日(土)
情報交流館2階 中スタジオ・図書館
午前の部：小学1～2年生　午前10時～正午
午後の部：小学3～4年生　午後1時～3時
参加費無料　定員各20人

紫波町図書館は、平成27年から毎年小学生を対しょうに「紫波町図書館調べる学習コンクール」を行っています。「調べる学習マスター2019」は、低学年と中学年を対しょうとした「調べる学習が楽しく学べるこう習会」です。「調べる学習」ではどんなことをするのか藤田先生に教えていただきました。

1はてなをさがそう

不思議を発見するには、なぜだろうと思うことを「太陽チャート」にいくつか書いてみるといいよ。

2かいけつ方法を考えよう

自分の知りたいことが書いてある本を図書館でさがします。見つからないときは司書に聞いてね。

3そのままカードに書こう

本に書いてある答えを本の文章のとおり「そのままカード」に書き出します。見た本の名前を記録します。

4タイトルを決めよう

タイトルは文章で表すようにします。例えば「雲について」ではなく、「雲はどうしてできるんだろう」など、不思議に思ったことをタイトルにします。

5感想を書いてカードをまとめよう

「かんそうカード」に分かって良かったことなど思ったことを書きます。「そのままカード」と合わせて1まいの紙にまとめます。

みんなで記念さつえい。午後の部の参加者は16人。楽しかったね。

調べる学習の感想　大沼 緋夏(ひなつ)さん(赤石小学校4年生)

昨日、学校でもやったので2回目です。答えが1さつの本で見つからないこともありますが、今日は2さつの本で見つけました。調べたのは「雲はなぜ空にうくのか」「雲はどうしてできるのか」ということです。自分で調べることが好きです。また参加したいです。

講師：藤田 利江(ふじたとしえ)先生　全国学校図書館協議会／学校図書館スーパーバイザー
「第19回調べる学習コンクール」調べる学習指導・支援部門で優秀賞・日本図書館協会賞を受賞。短時間で習得する探究型学習を目的とした講座は高く評価され、開催回数は600回を超える。

第5回「紫波町図書館調べる学習コンクール」の作品募集期間は9月1日(日)～10月6日(日)です。

これまで開催した主な企画展のテーマ(2016～2019年)

タート」
○一般企画展示「つながるとしょかんとつながる ライブラリーオブ・ザ・イヤー2016受賞館展」
○一般企画展示「未来をえがくオガールセンター」

【2016年】
○一般企画展示「シークレット・ブックーオビで伝える。―」
○一般企画展示「ありがとう4周年！Welcome to 紫波町図書館　あのひとのサイン本」
○一般企画展示「映画よ再び！―映画好きたちの今昔集―」
○一般企画展示「いよいよ始まる！いわて国体in紫波」
○児童企画展示「やってみたいな　国体のスポーツ」
○一般企画展示「わたしの一冊」
○一般企画展示「Teens！音楽してみる？」
○一般企画展示「民藝・手仕事を伝える人 追悼・久野恵一さん」
○一般企画展示「家族史探究！先祖をたどる」
○一般企画展示「文化をつなぐ！まちの出版社」

館長インタビュー

4つの車輪で真っ直ぐ走る！輝かしい未来に向けて

紫波町図書館館長　工藤 巧さん

館長になったばかりの頃、図書館をより知るために、通信教育で本の分類方法や図書館情報学などについて学びました。特に資料を読んで論文を書く、いわゆる情報リテラシーを学んだことは、図書館運営に大いに役立ちました。一つの根拠を見つけて、論理を発展させ、論文とする過程を学ぶことで、学問の方法論が理解できました。このことが後の「紫波町図書館調べる学習コンクール」へとつながっていきました。

今回初めて「アメリカ図書館協会2019年次大会（ALA2019）」に参加して実感したのは、アメリカは自由だけれど調べて学び、夢に向かって挑戦するための図書館としてのシステムができているということ。日本は考える教育が不足しているように思います。紫波町図書館の調べる学習の取り組みが町の特長になってほしいと考えています。

情報リテラシーの発想は、やがてまちづくりにつながっていきます。図書館は総合的なまちづくりに関わる重要な施設だといえるでしょう。今後は「本と子どもたちをつなげる」「地域資料を網羅的に集める」「農業などのビジネス支援を充実させる」「健康福祉など生活情報の充実」を4つの柱として取り組んでいく予定です。

探してみよう図書館情報

○図書館ホームページ
http://lib.town.shiwa.iwate.jp

○広報『紫波ネットおしらせ版』毎月第４水曜日発行。企画展示の内容やとしょかんおはなし会の日程、休館日や移動図書館かたくり号の巡回日程をお知らせしています。

紫波町図書館
SHIWA PUBLIC LIBRARY

お聞きしました 図書館の魅力と活用法

毎回工夫の連続。とにかく楽しい読み聞かせ

読み聞かせボランティア
「おはなしパフェ」代表
作山 智子さん（星山地区在住）

図書館内の「おはなしのへや」で毎月第３土曜日、午前11時から11時30分まで、就学前の子どもを対象に「としょかんおはなし会」を開催しています。

読み聞かせでは、子どもたちの反応や個性に合わせた柔軟性が求められます。子どもたちに試されているようにも感じますが、私にとって何よりも楽しい時間です。

９月21日（土）には町内の読み聞かせボランティアを行う団体による「おはなしまつり」が開かれます。子どもたちだけでなく一般の方々にもぜひ参加していただき、読み聞かせボランティアへの興味につながればうれしいです。

東日本大震災のボランティア活動を通じて、地場産業の疲弊と、高齢化による耕作放棄地の多さを目の当たりにして心を痛めていました。あるとき千葉県のボランティアの人から、塩ゆで用の落花生の種を譲り受けました。地域活性化の一助にしたいと考え、耕作放棄地を借りて、譲り受けた落花生の種を植えてみました。初年度は発芽率も悪く、収穫量も悲惨なもの。栽培に関する知識は皆無に等しい私でしたが、被災地からの帰り道、失敗した原因を調べようと立ち寄ったのが紫波町図書館でした。そのとき出合ったのがルーラル電子図書館です。

電子図書館をのぞくと、農業に関する情報が満載で、民間農法から専門研究、農業経営や料理に関することまで、多岐にわたりデータベース化されていました。農業用語すら満足に知らない素人にとって、参考となる事例をキーワード検索でき、比較的容易に必要な情報にたどり着けるルーラル電子図書館は、利用価値が高く利便性に優れていました。

今後は、野生動物による食害や連作障害を克服し、オーガニック栽培による利点と、過去から現代にわたる先人の知恵を学び、安全安心の農作物を作り続けたいと思います。大槌町の畑で育った落花生はこの春、岩手県の企業が商品化したデザートに採用されました。

落花生の栽培方法をルーラル電子図書館で調査

大槌町で有機農法による
落花生栽培に挑む
「かわいキャンプOB会」
田澤 隆さん
（青森県弘前市在住）

「紫波町デマンド型乗合バス」運行に向けた実証実験を実施します

町は、生活交通の利便性をより高め、持続可能な公共交通モードの構築を目的とした、デマンド型乗合バス事業による実証実験を行います。

◎デマンドバス…電話やスマートフォンでの予約に応じて、自宅付近から目的地まで送迎する、利便性の高いバスです。1台の車両に他の利用者と「乗合い」していただくことで効率的な運行を行います。

■**対象**　どなたでもご利用いただけます。

■**運行期間**　10月4日(金)～10月31日(木)　■**運行区域**　紫波町内全域

■**運行時間**　午前8時～午後5時30分
(最初の利用者を迎えに行くため車両が営業所を出発するのが午前8時、最後の利用者が目的地に到着する時間が午後5時30分になります)

■**乗降場所**　停留所を設定していませんので、自由に乗降場所を指定できます。

■**利用料**
1人1回500円(乗合が発生した場合は、1人1回300円)
※小学生は1人1回200円(乗合発生時1人1回100円)、未就学児は無料(※未就学児は保護者同伴で乗車してください。)

■**利用方法**　電話またはスマートフォンでの予約が必要です。
【電話予約の場合】オペレーターに乗車場所と降車場所を伝えてください。オペレーターが配車可能な時間をお知らせします。乗車時刻になったら乗車場所へ車両がお迎えにあがります。
【スマートフォン予約の場合】画面上の地図で乗降場所を指定すると、配車可能な時間が表示されます。その時間をご確認いただき、予約を決定してください。

■**予約受付時間**
【電話予約の場合】受付時間:午前8時～午後10時
利用希望日当日から翌日までの予約を、予約受付センターで受け付けます。
【スマートフォン予約の場合】受付時間:午前6時～午後5時
専用の予約フォームから、利用希望日当日のみ予約が可能です。
※予約に必要な電話番号、QRコードは後日改めてご案内します。

■**問合せ**　企画課 総合政策室　☎672-2111　内線2313

利用方法

乗合いでの利用になるため、出発時間と到着時間が変更になる場合があります。時間の確約はできませんのでご注意ください。

東京オリンピック事前キャンプ誘致を目指して

町は、東京2020オリンピック競技大会において、バレーボールカナダの事前キャンプを誘致するための活動を展開しています。今回は、これまでの活動状況をご紹介します。

カナダを相手国としたホストタウンに登録

町は昨年8月、盛岡市と共同でカナダのホストタウンに登録されました。

バレーボール競技に特化した施設を有する紫波町と、すでにカナダのホストタウンとなり、水球、ラグビーの事前キャンプ受け入れが決まっている盛岡市の強みを生かしあうことで、大会機運の醸成に貢献し、盛岡広域圏で国際交流の活性化、スポーツツーリズムの推進、そして、事前キャンプ誘致も含めたホストタウン事業を推進します。

Q ホストタウンってなに？

A 東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、全国の地方公共団体や大会参加国、地域とのスポーツ交流をはじめ、人的・経済的・文化的な交流を図るとともに、共生社会の実現やグローバル化の推進、地域の活性化、観光振興に資する観点から国が推進している取り組みです。

Q どうしてカナダなの？

A カナダは今年8月現在、バレーボールの世界ランキングにおいて男子が6位、女子が18位とオリンピック出場が大いに見込まれる強豪国だからです。今年8月に世界各国で行われたオリンピック大陸間予選では、男女共に惜しくも敗れてしまいましたが、来年1月に行われる北中米大陸予選で優勝することができれば出場権を獲得することができます。オール紫波でカナダを応援しましょう！

保育園の園児たちと交流する
バレーボールカナダ女子チーム

バレーボールカナダ女子チームが世界選手権のための事前合宿を行いました

昨年9月、バレーボールカナダ女子チームが町を訪れ、2018女子バレーボール世界選手権に向けた事前合宿を行いました。オガールエリアにあるバレーボール専用体育館「オガールアリーナ」を主会場に、最終調整に臨んだ選手たち。合宿の際、歓迎レセプションや地元実業団チームとのテストマッチ、保育園の園児たちとの交流を行いました。バレーボールカナダ女子チームの皆さんからは「第2の故郷のようだった」とうれしい言葉をいただきました。

佐比内金山太鼓が披露された歓迎レセプション

熊谷町長がカナダ代表チーム強化部長と面会

今年6月、熊谷町長がアメリカのシカゴ市を訪れ、バレーボールカナダ強化部長のジュリアン・ブシェー氏と面会しました。熊谷町長は、東京2020オリンピック競技大会における事前キャンプ地となれるよう町の良さをPRしました。

面会の中で、ジュリアン氏からは「女子チームの事前合宿受け入れの様子を聞き、紫波町には好印象を持っている」「現状、紫波町以外の事前キャンプ地を検討していない」との力強いお言葉をいただきました。

バレーボールカナダが出場権を得たあかつきには、町での事前キャンプ実施を確実なものとするべく、引き続き、誘致活動に力を入れます。

バレーボールカナダ強化部長の
ジュリアン・ブシェー氏(左)と熊谷町長

バレーボールカナダ事前キャンプを想定したテロ対処訓練を実施

7月24日に、紫波警察署など関係機関と連携し、バレーボールカナダの事前キャンプ時のテロを想定した官民合同の対処訓練を実施しました。

訓練はオガール東広場を中心に実施。バレーボールカナダ事前キャンプの際に行われる歓迎レセプション中に、無差別テロが起きたことを想定し、有事の際の動きなどを関係者が訓練の中で確認しました。

テロリスト役に
対応する警備員

警察や消防などが
連携し、負傷者へ
の対応を確認

■問合せ　生涯学習課 学習推進室　☎672-2111　内線3123

「紫波まちピカ応援プログラム」でまちをきれいに保ちませんか？

環のくに SHIWA 紫波

町は、住民、事業者との協働により空き缶やたばこの吸殻などのポイ捨てのない快適なまちづくりを進めるため、町内の道路・公園・河川などを対象として「アダプト・プログラム」を導入し、「紫波まちピカ応援プログラム」を実施しています。現在、6団体が活発に活動しています。

関心のある人は、環境課へ問い合わせください。皆さんの参加をお待ちしています。

◇「紫波まちピカ応援プログラム」とは

地域の皆さん（里親）が、道路・河川などの公共用地（養子）を、美化・清掃（養育）する活動に町が支援する制度です。

①活動区域…町が管理している道路・公園・河川・その他公共施設
②対象団体…住民グループ、企業、各種団体
③活動内容…ごみの回収、除草、緑化活動などを年５回以上、継続して行います。
④町の支援…ごみ袋などの消耗品の支給、ほうきなどの清掃用具の貸与と活動保険の手続き
⑤参加申込から活動までの流れ…団体などから町に参加申込をしていただき、町は申請地区の確認後、団体と覚書を交わします。その後、団体は清掃活動など行うこととなります。

活動の様子

28ページの「行ってみよう」では、紫波まちピカプログラム登録団体の活動を紹介しています。

◇紫波まちピカ応援プログラム登録団体

	団体名	活動場所・活動内容
1	星やま・まちピカ応援ネットワーク	国道456号、県道紫波川井線、町道の清掃活動
2	水辺の友の会	岩崎川、太田川の清掃活動
3	川を守る会前郷	宮手川、五内川、中島児童公園の清掃活動
4	日詰11区まちピカ応援隊	町道北日詰朝日田線などの清掃活動
5	紫波町金融団	日詰ふれあい広場の清掃活動
6	信頼の森岩手紫波店	日詰駅前および近隣公園、紫波中央駅前の清掃活動

報告 平成30年度家庭ごみ排出量

町内から排出された家庭ごみの量について平成30年度下半期分と年度総量をお知らせします。

■清掃センターに搬入されたごみ排出量と集団資源回収量

単位：t

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成30年度総量	平成29年度総量	対前年度比
燃やせるごみ	412	374	347	343	271	353	4,552	4,460	102.1%
生ごみ	64	67	57	60	47	51	716	738	97.0%
資源ごみ	61	57	69	60	54	61	757	764	99.1%
大型・不燃ごみ	47	50	45	29	31	47	542	489	110.8%
その他	4	2	2	2	1	2	27	31	87.1%
集団資源回収量							734	758	96.8%
合計							7,328	7,240	101.2%
1人1日当たりのごみの量（集団資源回収含）							605g	595g	101.7%
１人１日当たりの燃やせるごみの量							376.0g	366.7g	102.5%

■町内の家庭ごみの内訳

ごみの分別を心掛けましょう

■町のごみ排出量・資源回収量の目標

	平成26年度（基準）	平成30年度	令和2年度（目標）
1人1日当たりのごみの量	602g	605g	570g
集団資源回収量	838t	734t	1,000t

■申込・問合せ　環境課 環境室　☎672-2111 内線2251・2254　✉kankyo@town.shiwa.iwate.jp

しわわ

shi・wa・wa

地域おこし協力隊
安達 隆太さん

■担当　商工観光課 地域おこし協力隊　☎672-2111　内線2211

のだ塩の道
トレイルの参加者
と一緒に

今年の夏は気温の高い日が続いたように思いますが、皆さんはいかが過ごされましたか。昨年の夏は町に移住してきたばかりで右も左も分からず土地勘もなかったのですが、町での生活も落ち着き、町内外へ足を運ぶ機会も増えました。

今夏は、東北地域で開催された「七時雨マウンテントレイルフェス」、「のだ塩の道トレイル」への参加、「OSJ真昼山地トレイル」への応援と、アクティブに充実したシーズンとなり、東北でのトレイルランニングの盛り上がりを感じるとともに、大会の運営を行う上で非常に勉強になりました。

町内で開催される「あづまねマウンテントレイル2019」まで1カ月を切りました。昨年以上に、トレイルランニング初心者の方々がエントリーしてくださっています。もちろん走らない人も楽しめるよう、今年は「あづまねジャンボリー」と題して、より一層町内外の事業者様のご協賛・ご協力を賜り、スケールアップしたイベントを企画しています。

気持ちの良い自然の中でゆっくり飲食が楽しめるよう、当日はシャトルバスも運行します。町の新たな祭りとなり、ずっと続いていくよう準備を進めていますので、皆さんどうぞお楽しみに。当日、会場で皆さんにお会いできるのを楽しみしています。

※26～27ページに「あづまねマウンテントレイル2019」の記事を掲載していますので、ご覧ください。

七時雨マウンテン
トレイルフェスの
スタッフの皆さん

町長メッセージ

熊谷　泉

今年のオガール祭りは、ビールがすぐ汗になるような暑い日もあったが、好天の中盛況のうちに終えることができた。従来の大型テントから、町内企業の協力のもとアンブレラ型のテントを多く配置し、出店数も増え新しい味も楽しんでいただけたと思う。

私も会場で多くの方々とお話することができた。姉妹都市の東京都日野市からも4人が来町し、TOYODA（トヨダ）BEER（ビール）を販売してくださった。このように県外からも多くの人が集まり、町民はもとより町外の方々とも「オガール祭りで会いましょう」が合言葉になりつつある。

オガールエリアには昨年、約1300人の視察者が訪れた。上京の折は会いたいと申し入れをいただいたので、8月下旬に全国町村下水道推進協議会要望で霞ヶ関を訪れた際、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局の木下地方創生総括官にお会いした。主にオガールについて質問があったほか、私からは町の「SAKE TOWN SHIWAプロジェクト」と「あづまねイイ山イイ湯だなプロジェクト」を紹介した。また、次期総合戦略や創生事業の採択について地方の自由度を高め、ハードルを下げてほしいと要望してきた。

当町には地域おこし協力隊が次々と着任し、さまざまな視点での活動が続いている。応募がない町村もある中、ありがたいことだ。当町は人口が社会増に転じたが、地方創生は東京にない魅力を発信していくことが基本である。ぜひ町民の皆さんのアイデアをお寄せいただきたい。

体協だより

[令和元年度]後期スポーツ教室のご案内

会員登録料（保険料込）	幼　児	児童生徒	一　般	65歳以上
	500円	800円	1500円	1200円

受講を希望する人は、下記の順に手続きを行ってください。

1 **受講希望申込**　9月16日（月・祝）午前9時から18日(水）午後5時までに、受講希望申込書に必要事項を記入の上、総合体育館窓口に提出してください。※定員を上回る希望があった場合は抽選により受講者を決定します。

2 **受講決定発表**　9月19日（木）午後1時に受講決定者を総合体育館窓口前に掲示およびホームページに掲載するので確認してください。

3 **受講手続き**　9月20日(金）午前9時～23日（月・祝）午後5時までに会員登録料・受講料を添えて受講申込書を提出してください。

4 **再募集(町外者含む)**　定員となっていない教室に限り、9月27日(金）午後0時30分から受け付けます。

教室名（会場、講師）	開催期間・対象・定員	内　容	受講料
体育塾 1年生コース（総合体育館ほか、体協職員）	期間:10/10～2/20(10回)、隔週木曜(冬休み除く)、16:30～17:20 対象:小学1年生、定員:16人	楽しくいろいろな運動経験を積み、総合的な運動能力の習得を目指します。	3500円
体育塾 2･3年生コース（総合体育館ほか、体協職員）	期間:10/10～2/20(10回)、隔週木曜(冬休み除く)、17:30～18:30 対象:小学2･3年生、定員:20人(各学年10人)	遊びを取り入れた運動プログラムを通じて、総合的な運動能力の習得を目指します。	3500円
体育塾 高学年コース（総合体育館ほか、体協職員）	期間:10/28～3/2(10回)、隔週月曜(冬休み、祝日除く)、17:30～18:30 対象:小学4～6年生、定員:18人(各学年6人)	さまざまな動作の習得を図り、運動能力向上を目指すプログラムで実施します。	3500円
ジュニア水泳教室 低学年コース（ラ･フランス温泉館、町水泳協会員）	期間:10/19～11/23(6回)、毎週土曜18:00～18:50、対象:小学1～3年生 定員:30人(各学年10人)	初めてプールに入る人･初心者を対象に泳ぎ方の基本を指導します。 ※プール利用料は個人負担。	2500円
ジュニア水泳教室 高学年コース（ラ･フランス温泉館、町水泳協会員）	期間:10/19～11/23(6回)、毎週土曜19:00～19:50、対象:小学4～6年生 定員:30人(各学年10人)	「プールに顔をつけるのが怖い」「泳ぎに自信がない」という人を対象に泳ぎ方の基本を指導します。 ※プール利用料は個人負担。 ※スキルアップの指導ではありません。	2500円
新体操教室 キッズコース（総合体育館、菊池佳奈子さん）	期間:11/19～2/4(6回)、隔週火曜(冬休みを除く)16:30～17:20 対象:満5歳～小学1年生の男女　定員:10人	ボールなどの用具を使いながら、女子新体操の動作を取り入れてコーディネーション能力を高めるプログラムを行います。	3000円
新体操教室 ジュニアコース（総合体育館、菊池佳奈子さん）	期間:11/19～2/4(6回)、隔週火曜(冬休みを除く)17:30～18:30 対象:小学2～6年生の男女　定員:20人	ボール、リボンなどの用具を使いながら、良い姿勢や柔軟性を高めることを目的としたプログラムを行います。	3000円

9月20日(金）午後0時30分から受付開始
（申込順に受付。町外者は9月27日（金）から受付）

教室名（会場、講師）	開催期間・対象・定員	内　容	受講料
親子リズム体操教室（総合体育館、瀬川はるみさん）	期間:10/3～11/14(6回、10/31休講) 毎週木曜 10:00～11:00 対象:満2歳以上の幼児と保護者　定員:20組	さまざまな遊びを通じて子どもの発達に適した運動経験をし、親子でふれあいながらリズムに合わせた運動を行います。	2500円 子ども2人目から別途500円
元気いきいき教室（総合体育館ほか、体協職員）	期間:10/29～12/17(8回) 毎週火曜 10:00～11:30 対象:18歳以上(高校生を除く)　定員:25人	簡単なトレーニングで筋力の維持増進と、ニュースポーツで頭と体を楽しく使い健康増進を目指します。	3000円

◇**注意事項**　※1人につき1家族分の申し込みとなります。
※教室開催中の傷害事故などについて、応急処置をするほか、加入する傷害保険で対応するのみとします。

【問合せ】（一財）紫波町体育協会（紫波町総合体育館内）　☎676-2650

参加者募集 ロードレース大会

紫波運動公園内特設コースを会場に、ロードレース大会を開催します。個人の部、ファミリーの部、継走の部と全16種目により行われます。仲間や家族と、それぞれのペースで楽しみながら公園内を走り抜けましょう。お誘い合わせの上、ご参加ください。

前回大会（日詰商店街特設コース）の様子

■**日時**　9月29日（日）
午前8時　選手受付／午前8時30分　開会式
午前9時～種別ごとにスタート
■**会場**　紫波運動公園内特設コース
■**参加種別**
（1）個人の部
①小学生男子・女子の部（低・中・高学年別）…1周（1.5㎞）
②中学生男子・女子の部……2周（3.0㎞）
③一般男子・女子の部……2周（3.0㎞）
（2）継走の部（1チーム4人編成）
①小学生男子・女子の部（1人1周）
②中学生以上男子・女子の部（1人1周）
（3）ファミリーの部（家族2人以上で1周を走り、手をつないで一緒にゴールする）
①申告タイムの部：予想タイムを申告し、予想タイムに近い順番に順位を決める。
②競走の部：速さを競う。
■**参加費**
小中学生800円、高校・一般1300円、継走の部1組2000円
ファミリーの部1000円
■**申込**　9月22日（日）までに総合体育館へ参加費を添えて申し込みください。
紫波町総合体育館
〒028-3307 紫波町桜町字下川原100 ☎676-2650

参加者募集 キンダースポーツ教室

満2～3歳と保護者対象の、幼児の運動能力向上を目的としたスポーツ教室です。親子で体を動かして心と体の発達を促しましょう。
■**日時**　11月 4日（月・休）午前9時30分～10時30分　■**会場**　総合体育館
■**対象・定員**　満2～3歳の幼児と保護者 20組　■**参加費**　1組 500円（幼児１人、保護者１人）
■**申込**　所定の申込書に必要事項を記入の上、総合体育館に申し込みください。

報告 令和元年度地区対抗競技大会途中経過報告

全8競技の順位の合計得点で競われる地区対抗競技大会は5競技が終了し、残る競技はグラウンドゴルフ競技（10月20日）、卓球競技（2月2日）、輪投げ競技（2月23日）の3競技となりました。途中経過は下記のとおりです。
1位：古館地区112.5点／2位：赤石地区110.0点
3位：日詰地区65.0点　（8月25日時点）

テニス競技の様子

報告 スポーツ少年団野球大会を行いました

8月31日・9月1日の2日間、町内のスポーツ少年団5チームによるスポーツ少年団野球大会が行われました。どのチームも優勝を目指して最後まで全力でプレーをし、熱い戦いが繰り広げられました。大会結果は次のとおりです。
優　勝：日詰サンダース／準優勝：古館スカイヤーズ
第３位：紫波東サンライズ、上平沢／第５位：赤石野球

優勝を果たした日詰サンダースの皆さん

【お知らせ】　10月1日から紫波運動公園および紫波町総合体育館の特別使用料（電灯料・暖房料・設備使用料）が一部改定されます。詳細については、総合体育館に問い合わせください。

■持ち物　歩きやすい服装・靴、飲み物、タオル、雨具
■申込・問合せ
健康福祉課 健康推進室
☎672-2111　内線1346

相　談

認知症なんでも相談

町内のグループホーム（認知症対応型共同生活介護事業所）の職員と町の認知症地域支援推進員が認知症に関する相談に応じます。

■日時　10月10日（木）
午後2時～4時
■会場　情報交流館 1階 市民交流ステージ
■問合せ　長寿介護課 高齢者支援室
☎672-2111　内線1231

お知らせ

令和2年度から彦部児童館を（仮称）東部保育所として開所します

このことについて説明会を開催します。どちらの日程も内容は同じで、どなたでも参加できます。都合の良い日にご参加ください。　申込不要

■日時・会場
・9月26日（木）　午後7時～8時
長岡公民館
・9月29日（日）
午前10時30分～11時30分
役場 3階 301会議室
■問合せ　こども課
☎672-2111　内線5314

胃がん検診のお知らせ

本年度の胃がん検診を実施します。会場などの詳細は、広報と一緒に全戸配布している「胃がん検診のお知らせ」をご覧ください。

■日程　10月5日（土）～10月14日（月・祝）
■時間　開場：午前6時40分
受付：午前7時～9時30分
■持ち物　胃がん検診受検票（4月に配布した総合検診案内（黄色い封筒）に同封）
■問合せ　健康福祉課 健康推進室
☎672-2111　内線1342

忘れていませんか？ 児童手当の現況届

6月以降の児童手当を受給するには、「現況届」の提出が必要です。まだ提出していない人は至急ご提出ください。現況届の提出がない場合は、6月以降の児童手当を受給できませんのでご注意ください。

■問合せ　こども課 子育て支援室
☎672-2111　内線3181

総務省 統一QR「JPQR」普及事業

現金を使わずに買い物ができるスマホ決済をご存じですか。現在のスマホ決済は、各社が個別に参入し、消費者から使いにくいという声があります。8月1日から岩手県を含む4県で、各社のQRコードを一つにまとめた「JPQR」という統一コードを使えるようにする実証実験が始まりました。一つのQRコードで最大7社の決済サービスが利用できます。この機会にスマホ決済をご利用ください。詳しくはホームページをご覧ください。

■期間　令和2年1月31日（金）まで
■実施エリア
岩手県、長野県、和歌山県、福岡県の県全域
■問合せ　岩手県商工労働観光部 経営支援課　☎629-5545（直通）

プレミアム付平太くん商品券発行のお知らせ

消費税率の引き上げが家計に与える影響を緩和するとともに、地域の消費を下支えするためにプレミアム付平太くん商品券を発行します。

■購入対象者
・住民税非課税の人…令和元年度分の住民税が課税されていない人（ただし、住民税が課税されている人に扶養されている人、生活保護の受給者などは除きます）
・子育て世帯…平成28年4月2日～令和元年9月30日に生まれたお子さんがいる世帯の世帯主
■購入引換券
商品券の購入には、購入引換券が必要です。住民税非課税の人は、町から郵送された交付申請書により、令和2年1月31日（金）までに申し込みください。子育て世帯は、申請不要です。町から届いた購入引換券は再発行できませんので、無くさないよう大切に保管してください。
■購入方法　販売窓口で、購入引換券と本人確認書類（運転免許証など）を提示し、購入してください。代理人は、代理の旨を申し出て購入引換券と本人確認書類を提示の上、購入してください。
■販売期間　10月1日（火）～令和2年2月28日（金）
■販売窓口　紫波町ポイントカード会（日詰商店街 東北銀行紫波支店の北隣）
平日午前10時～午後5時（ただし、10月の土日祝日および11月の第2・第4土日は販売を予定します）
■商品券の種類　券面額500円の1種類／10枚1組（5000円相当）を4000円で販売します。
■購入可能額　住民税非課税の人および子育て世帯のお子さん1人につき、最大2万5千円分の商品券を2万円で購入できます。両方の要件に該当する人は、両方の立場で商品券を購入できます。
■使用可能店舗　ホームページに掲載するほか、一覧表を購入引換券と併せて郵送します。
■問合せ　紫波町商工観光課
☎672-2111　FAX 672-2311
紫波町商工会
☎672-2244　FAX 672-2316

暮らしの情報

催し

盛岡・紫波地区環境施設組合清掃センター環境まつり

盛岡・紫波地区環境施設組合は、「清掃センター環境まつり」を開催します。楽しいイベントが盛りだくさんです。

■日時　9月29日(日)
午前10時～午後3時

■内容　各ごみ処理施設の一般公開とリサイクルに関する紹介、入浴施設(ふれあい館)の無料開放、餅まき大会、堆肥(田園有機)の特別販売、屋台・産直ふれあい市など

■会場・問合せ
盛岡・紫波地区環境施設組合清掃センター(矢巾町大字西徳田12-168-2)　☎697-3835

水道フェスティバル

暮らしと水道について楽しく学べるイベントです。

■日時　9月29日(日)　午前10時～午後3時30分(雨天中止)

■会場　いわて花巻空港ウエストエプロン地区(国道4号沿いの旧空港ターミナルビル側)、いわて花巻空港スカイフェスタ会場内(同時開催)

■内容　水道クイズラリー、水道水とミネラルウォーターの飲み比べ、地震に強い水道管の模型展示、水鉄砲で遊ぼう

■問合せ
岩手中部水道企業団 経営企画課
☎0198-29-5377　内線31

紫波町アウトドアスポーツフェスタ

クライム・スプリントレース、ロードバイク体験、スケートボード体験など、アウトドアスポーツを主としたイベントを開催します。

■日時　10月5日(土)
午前8時30分～午後1時

■会場　佐比内サイクルパーク

■申込・問合せ
10月2日(水)までに町ホームページの特設フォームから申し込みください。
生涯学習課 学習推進室
☎672-2111　内線3123

紫波町ふれあいフェスタ2019

福祉施設の利用者や保育園児などによる歌や踊りのステージ発表のほか、バザーや飲食物の販売、クイズラリーなどを行います。

■日時　10月5日(土)
午前9時45分～午後2時
(先着100人に紅白餅プレゼント)

■会場　情報交流館(JAいわて中央本所から情報交流館までの無料送迎あり)

■問合せ　紫波町社会福祉協議会
☎672-3258

文学・歴史伝承講座「平泉藤原氏と紫波の樋爪氏との関わり」 参加無料

申し込みの上、ご参加ください。

■日時　10月6日(日)
午後1時30分～3時

■会場　情報交流館 2階 大スタジオ

■講師　金野 静一さん(日本教育公務員弘済会岩手支部顧問)

■定員　100人

■申込・問合せ
紫波町図書館　☎671-3746

古館地区「防災ポータルサイト作成ワークショップ」

古館まちづくりの会若者チームは、古館地区の防災や災害支援について情報交換ができる「防災ポータルサイト」を作成するため、「古館ならではの防災ポータルサイト」について考えるワークショップを開催します。

■日時　10月6日(日)午後6時～8時

■会場　古館公民館ふれあいホール

■定員　30人程度

■申込・問合せ　9月30日(月)まで
古館まちづくりの会
☎090-8619-6767
✉furumachi.0427@gmail.com

元気はつらつウォーク 新涼の風を感じて歩こう! スポレクウォーク

紫波運動公園周辺を巡るコースです。景色を楽しみながら元気はつらつにウォーキングしませんか。 参加無料

■日時　10月14日(月・祝)
午前10時～11時30分
※受付:午前9時15分～

■集合場所・コース
紫波運動公園 日詰地区約3km

紫波町民 平日限定 入浴割引券
大人 700円 → 400円
子ども350円 → 200円
※温泉館受付でこの紙面をご提示ください。※1枚で1グループ、期間中何回でもご利用いただけます。※上記金額はお一人様の入浴料金となります。※土・日・祝祭日は利用不可です。
《割引券有効期間》令和元年10月31日(木)まで

要予約 ご入浴でも!!ご宴会でも!!ご宿泊でも!!
0円バス 毎日運行!!

発着場所		時刻		
ラ・フランス温泉館	発	9:00	14:30	15:30
JR紫波中央駅	発	9:30	14:45	15:45
日詰商店街 東北銀行さん前	発	9:45	15:00	16:00
ラ・フランス温泉館	着	10:00	15:15	16:15

※天候や道路状況により予告なく時間を変更する場合がございます。※車内での喫煙・飲食はお断り申し上げます。※上記場所以外での乗車・降車はお断り申し上げます。※0円バスの乗車には前日までの事前予約が必要となります。

お問い合わせ 紫波町小屋敷字新在家90番地
☎019-673-8555
ラ・フランス温泉館 検索 http://www.lafrance.co.jp/
お肌に優しいアルカリ性温泉 La France ラ・フランス温泉館

暮らしの情報

10月1日(火)から 紫波中央駅前駐車場の料金が変わります

紫波中央駅前駐車場の使用料を10月1日から改定します。最初の90分間は今までと変わらず無料ですが、90分を超えて駐車した場合、4時間まで100円となり、4時間を超えて駐車した場合、12時間ごとに100円が加算されます。使用日数の限度は、今まで通り10日間(延長申請可)となります。主な改正内容は次のとおりです。

なお、紫波中央駅東駐車場については、料金の改定は行わず今までと同様の料金です。

【改正の概要】(紫波中央駅前駐車場)

項目	改正前	改正後	施行日
使用料	90分まで無料	90分まで無料	10月1日(火)
	24時間ごとに100円を加算	90分を超え4時間まで100円	
		4時間を超えたとき12時間ごとに100円を加算	

※紫波中央駅東駐車場の使用料
24時間ごとに100円(最初の90分間は無料)

使用料は**出庫時刻**が基準となります。

■問合せ　都市計画課 都市計画室　☎672-2111　内線2142

まるもり整骨院
紫波郡紫波町日詰字丸盛222-1 プラス第一ビル1F
☎019-671-1162(予約優先)
平日 夜10時まで
○受付時間
平日　9:00～13:00
15:00～22:00
土曜　9:00～13:00
★土曜午後は予約のみ
○休診日　日曜・祝日
○駐車場　8台(テナント共有)

こずかた診療所 内科
■診療時間平日　9:00～12:00/13:30～17:30
■受付時間平日　8:30～11:30/13:15～17:00
■休診　土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘
■施設概要　在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもとに看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。
■利用対象者　65歳以上で介護保険の要介護1～5の認定を受けられた方。
※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1～5の方
矢巾町大字又兵工新田5-335 医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)
☎019-698-2015(代)　☎019-698-3033(受付)

2019 自園自醸ワイン紫波
紫波ワインまつり
●日時
10月5日(土)・6日(日)
10:00～15:00
●会場:自園自醸ワイン紫波ワイナリー
新酒 にごりワイン の発売他イベント 盛りだくさん
(株)紫波フルーツパーク 紫波町遠山字松原1-11 道の駅紫波200メートル奥
☎019-676-5301 http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/ 紫波ワイン 検索

キラッと★ちゃ★ちゃ★ちゃんねる

このコーナーでは毎月、町の子育て支援情報など、「子ども」に関する情報をお伝えしています。
今月は子育て応援センター「しわっせ」から「ふれあい遊び」「手遊び」について紹介していただきました。

心と体を育むふれあい遊び&手遊び

皆さんは家でお子さんと過ごすときなどに、どんな遊びをしていますか。今回紹介する「ふれあい遊び」や「手遊び」は、その場におもちゃや道具が無くても、いつでもどこでも遊べます。皆さんも、ふれあい遊びや手遊びを覚えて、お子さんやお孫さんと一緒に遊んでみませんか。

ふれあい遊び・手遊びってなに？

- ふれあい遊び…歌などに合わせて、子どもとスキンシップを図りながら楽しむ遊びのこと。
- 手遊び…歌と手の動作が一つになった遊びのこと。中には、手先だけではなく、腕や体全体をリズムに合わせて動かすものもあります。

ふれあい遊び・手遊びのうれしい効果

●体や脳が刺激されてさまざまな発達が促される

リズミカルな歌に合わせて親子でふれ合ったり手指や体を動かしたりすることにより、子どもたちの体や脳はたくさんの刺激を受けます。歌と動作がセットになっているので、いろいろなものをイメージする力が育ち、繰り返し行うことで反射機能やリズム感、体や手指の動かし方や力の加減などが自然と身に付いていくことにもつながります。

●スキンシップにより安心感や愛着関係が育つ

人はリラックスした気持ちで肌が触れ合うことで、脳内物質「オキシトシン」が分泌されることが科学的に分かっています。遊びをとおしたスキンシップにより、子どもは安心感で満たされ、親と子の愛情も深まります。また、幼少期にオキシトシンが多く分泌された子は、心が安定してストレスにも強くなるといわれています。

●コミュニケーションの力が育つ

ふれあい遊びや手遊びをすることは、そのまま親子のコミュニケーションや次の遊びへとつながっていくきっかけとなります。また、遊びを通じて感じたコミュニケーションの楽しさが、他の友達や大人とのコミュニケーションにも発展していく土台にもなります。

お母さんのおなかの中にいたころから聞いていた親の声は子どもたちにとってとても安心するもの。幼いときに優しく接してもらったことや、一緒に歌って楽しかったこと、感じた安心感などは、子どもたちの心の中に残っていくものです。子どもたちが大きくなったときに、ふと思い出してほっとするような心のお守りになるといいですね。

実際にやってみよう！おうちでできるふれあい遊び・手遊び

簡単にできるふれあい遊びと手遊びを動画で紹介していますので、スマートフォンなどで2次元バーコードを読み込んでご覧ください。

★「キュウリ」…寝そべったお子さんをキュウリに見立てたふれあい遊びの歌。赤ちゃんから小学生のお子さんまで、幅広く楽しめます。

★「やさいのうた」…子どもたちがよく知っている野菜の名前とリズミカルな擬音語が並ぶ手遊び歌です。

手遊びは、子どもだけではなく老若男女問わず脳によい効果があります。ぜひ子どもと同じ目線で一緒に楽しんでみてくださいね。

■担当・問合せ　こども課 こども室　☎672-2111　内線3130

クマ出没注意！！

農作業時は、ラジオなどを周囲に聞こえる音量で流しましょう。

■問合せ　環境課 環境室　☎672-2111　内線2252

紫波ネット広告を募集しています

■掲載料　1枠1万800円（税込み）
■申込・問合せ　企画課 総合政策室
☎672-2111　内線2314　✉shiwa.info@gmail.com

体の健康 「救急医療体制」のお知らせ

～医療機関の適正な受診をしましょう～

救急医療体制を維持していくため、医療機関の適正な受診について、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

できるだけ平日の診療時間内に受診しましょう

「救急医療」は単なる時間外診療ではなく、あくまでも急病時のためのものです。安易に休日や夜間など時間外受診をするのはやめましょう。

休日・夜間に具合が悪くなったら…

休日・夜間の急病のときは、休日当番医や夜間急患診療所で対応しています。症状によって翌日の受診でも大丈夫な場合は、かかりつけ医を受診するなどの配慮をお願いします。

●救急医療体制について

盛岡地区の救急医療は以下の体制で対応しています。

盛岡地区の救急医療体制

一次救急…比較的症状の軽い患者 ⇒**夜間急患診療所・休日救急当番医**
二次救急…入院や手術が必要な重症の患者 ⇒**二次救急入院受入病院・小児救急受入病院**
三次救急…命に関わる特に症状の重い患者 ⇒**高度救命救急センター（岩手医科大学附属病院）**

（※1）**二次救急入院受入病院**…岩手医科大学附属病院、県立中央病院、盛岡赤十字病院、盛岡市立病院、遠山病院、栃内病院、高松病院、盛岡つなぎ温泉病院、盛岡友愛病院、川久保病院、国立病院機構盛岡医療センター、八角病院
小児救急入院受入病院…岩手医科大学附属病院、県立中央病院、盛岡赤十字病院、川久保病院

●岩手医科大学附属病院の移転に伴う診療体制

岩手医科大学附属病院は、9月21日（土）に矢巾町に移転します。移転に伴う診療体制は以下のとおりです。

9月19日（木）～23日（月・祝）…… 救急受入停止
9月20日（金）～23日（月・祝）…… 外来休診
9月21日（土）…… 入院患者搬送
9月24日（火）……内丸メディカルセンター外来開始
岩手医科大学附属病院（矢巾町）外来開始〔完全予約制〕

※移転前の岩手医科大学附属病院は、内丸メディカルセンターとなります。

■問合せ　健康福祉課 健康推進室　☎672-2111　内線1345

福祉　みんなでつなごう　いのちとこころの絆

～９月は自殺防止月間です～

平成30年の人口動態統計によると、全国の自殺者数は2万32人でした。また、県内の自殺者数は253人で、平成15年の527人をピークに長期的には減少傾向にあります。しかし、30年の自殺死亡率は全国ワースト3位で、依然として全国的に高い水準となっています。

県は9月を「岩手県自殺防止月間」とし、一人でも多くの自殺を防ぎ、自殺予防に取り組む社会づくりに向けて、啓発事業や相談支援などに取り組んでいます。

【こころの健康に関する相談窓口】

あなたが悩みを抱えていたら、一人で悩まず相談してください。大切な人が悩みを抱えていたら、話を聞いて、相談窓口を紹介してあげてください。

・岩手県精神保健福祉センター
☎(622)6955
月～金　午前9時～午後9時

・岩手県県央保健所 保健課
☎(629)6574
月～金　午前9時～午後4時30分

・紫波町役場 健康福祉課
☎(672)2111
月～金　午前8時30分～午後5時15分

「紫波町いのち支える自殺対策計画」に基づき、自殺予防の取り組みを推進しています

「誰も自殺に追い込まれることのない紫波町」を目指し、取り組みを推進していきます。取り組みの一部を紹介します。

「紫波町いのち支える自殺対策協議会の設置」

4月に協議会を設置し、保健・医療・福祉、教育、警察、地域活動の関係者などに委員を委嘱しました。この協議会では、町全体で自殺対策を推進するため、自殺対策計画の進捗状況の管理や検証を行うほか、連携体制の構築・強化を図ります。

「ゲートキーパー養成講座の開催」

自殺対策を支える人材の育成は、地域のネットワークを構築する基盤となる重要な取り組みです。自殺の危険が高い人の早期発見・早期対応のため、自殺のサインに気付き、必要な相談や支援機関につなぐことのできるゲートキーパーの養成を進めています。

本年度は、町議会議員や保健推進員を対象とした講座のほか、町職員向けの講座を開催し、町全体、全庁での取り組みを推進します。

ゲートキーパーとは？

悩んでいる人に気付き、声を掛け、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことを、ゲートキーパー（命の門番）と呼びます。私たちは誰でも悩みを抱えた人と関わることがあります。一人一人が、心の健康問題に関心を持ち、身近で悩んでいそうな人に声を掛けるなど、あなたにできることから始めてみましょう。

ヘルシーレシピ

【べじたぶるに】

材料［4人分］

	キュウリ	1本
	ゴボウ	1/4本
	ニンジン	1/4本
	インゲン	2本
Ⓐ	塩	小さじ1/2
Ⓐ	砂糖	小さじ1
Ⓐ	コショウ	少々
	豚肉薄切り	2枚
	コンソメ（固形）	1個
Ⓑ	オクラ	4本
Ⓑ	赤パプリカ	1/3個
Ⓑ	コーン	20g

作り方

❶ゴボウは15㎝ほどの長さで縦４つ切りにする。ニンジンも同じ長さで１㎝角の棒状に切る。オクラはゆでて小口切りにする。赤パプリカは１㎝角に切る。
❷ゴボウ、ニンジン、インゲンをひたひたの水とⒶで煮る。
❸豚肉に塩、コショウをふり、❷を芯にして巻く。
❹キュウリの皮を取り、種をくり抜く。
❺くり抜いたところに❸を詰める。
❻鍋に❺とかぶる位の水、コンソメを入れて煮る。
❼キュウリが柔らかく煮えたら、食べやすい大きさに切って皿に盛り、Ⓑを散らす。

【レシピ提供】紫波町食生活改善推進員協議会 水分地区会員の皆さん

ポイント

☆キュウリは直径8㎝ほど、長さ35㎝ほどのものを使用しました。火が通りにくいゴボウ、ニンジン、インゲンは下煮することで、キュウリと同じくらいの柔らかさに仕上がります。

もしもに備える!生きるチカラ 古館地区で防災サバイバル体験

古館地区の「子どもを見守るまちづくり委員会（石幡信委員長）」は7月30・31の両日、古館公民館で防災サバイバル体験を開催しました。昨年度古館地区で開催された防災ワークショップに参加した、紫波一中の生徒たちが発案。古館小、紫波一中の児童生徒のほか、保護者やスタッフなど合わせて約40人が参加しました。

参加者は6年前の豪雨被害箇所を確認しながら地区内を歩いた後、浸水箇所や避難場所をまとめた防災マップを作りました。また、夕食として非常食を実食し、避難所生活を体験するため公民館に宿泊。企画を提案した紫波一中3年の菅野梅花（うめか）さんは「風化しつつある6年前の豪雨被害を教訓に、みんなで防災について考えたいという思いで企画しました。楽しみながら防災を学ぶことで、小学生や中学生も防災の必要性を考えていけたら」と話しました。

「災害はいつどこで起きるかわからない」防災マップを通じて災害の怖さを学んだ参加者

非常時の持ち物ってなんだろう?

地域の安全を守る!わんわんパトロール隊

おそろいのバンダナを付けるわんわん隊員と、飼い主の皆さん（7月27日撮影）

いつもよりちょっとだけ、周囲を気にかけながらお散歩

町は、安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを目指し、愛犬と散歩しながら地域の防犯や交通安全、登下校時の生徒や児童、高齢者などを見守る「わんわんパトロール」活動を実施しています。愛犬と飼い主の皆さんが日課としているお散歩のとき、いつもより少しだけ周囲に気を配るだけで、地域の防犯力向上や見守り活動につながる、どなたでも気軽に無理なくできるボランティア活動です。

現在、「わんわんパトロール隊員」を募集中です。地域の安全安心を守り、「あたたかい目と心」を広げていきましょう。対象は町内在住で飼い主登録と過去1年以内に狂犬病予防注射を済ませた飼い主と愛犬で、隊員には隊員証とキーホルダー、バンダナをお渡しします。登録を希望する人は消防防災課へ問い合わせください。

■問合せ　消防防災課 消防防災室　☎672-2111 内線2365
✉ e-bousai@town.shiwa.iwate.jp

介護サービスの担い手育成へ

町は7月29・30の両日、介護の担い手育成のための取り組みとして「総合かいごサポーター養成講座」を開催しました。

参加した8人は、町の高齢者の状況、認知症の知識や対応方法を学んだほか、高齢者の疑似体験、介護職員の体験談などにより高齢者に関する理解を深めました。

また、参加者全員が全ての課程を修了し、町生活支援ヘルパーと介護相談員に必要な資格を取得しました。今後さまざまな高齢者支援の仕組みを支える担い手となることが期待されます。

町職員から介護制度の仕組みを聞き、理解を深めた参加者

豊かな公が息づくまち

共に創り、守り育てる みんなのふるさと・地域の暮らし

町は、「地域運営組織等形成支援モデル事業」により、地域のさまざまな課題解決に取り組む2つの団体を支援しています。支援2年目に入った古館地区の「NPO法人古館まちづくりの会」と、赤沢地区の「KOMABAテラスプロジェクト実行委員会」の取り組みを紹介します。

NPO法人古館まちづくりの会（古館地区）

★新しい組織になって事業開始

昨年1月に活動を始めた「古館地区運営組織準備委員会」は、昨年度住民を対象にワークショップや勉強会を開催しました。また、自立した組織として地域で活動を続けていくため、最適な組織のあり方について議論を重ねてきました。その結果、今年6月、「NPO法人古館まちづくりの会」を設立。地域の住民や団体の活動をサポートする中間支援団体として新たな一歩を踏み出しました。

★古館地区住民にアンケート調査を実施

「古館地区をもっと良くしていきたい」という思いから、本年度は小学5年生以上の古館地区住民約8000人を対象にアンケート調査を実施し、地域の皆さんの声を集めます。前郷地区を皮切りに9月中旬から調査を始め、年度末には古館全地区の調査結果をまとめる予定です。住民ニーズを探り、地域の課題や魅力を知ることで、地域に必要な取り組みを検討していきます。

★地域にあった活動のカタチへ
～交通安全母の会の話し合いから～

地域団体へのヒアリングを行っている、古館まちづくりの会会員の水本千恵子さん（紫波町集落支援員）は、「役職の担い手がいない」「活動の目的を見失っている」「困ったときに声をあげる場がない」「地域の課題に関心がない」といった悩みを抱えている団体やリーダーが多くいると話します。そうした団体の一つであった交通安全母の会古館分会は、古館まちづくりの会の支援を受け、本来の目的を見失うことなく、関係団体と調整しながら活動を存続していくための話し合いを行ってきました。そして、名称を「マ・モーレ隊ふるだて」と新たにし、会の目的を再確認した上で、会員が参加しやすくなるように、活動内容の見直しを進めました。

▼古館まちづくりの会ホームページ　https://furu-machi.com/top/

古館まちづくりの会のメンバー（設立総会にて）

地区の役員の皆さんに協力いただくため、アンケートの事前説明会を実施

KOMABAテラスプロジェクト実行委員会（赤沢地区）

★話し合いの場づくりを支援

「思っていることを気軽に話せる場がほしい。」

昨年度、実行委員会のメンバーは地域のそんな声に対応し、話し合いの場づくりを支援してきました。赤沢小PTA懇談会主催で行われたワークショップのテーマは「地域の子どもの居場所」。実行委員会のメンバーも加わり、活発な意見交換の場づくりができました。実行委員会ではこうした機会を通じて、地域の協力者を増やしながら、拾い集めた小さな声を具体的な事業につなげていきたいと考えています。

★赤沢地区暮らしのアンケートから見えたこと

今年2月から4月にかけて赤沢地区の中学生以上1057人を対象に、アンケート調査を実施しました。地区の役員の皆さんの協力もあり、863人から回答をいただくことができました。将来を見据えて重要な取り組みの上位5つ（下図）のほか、子育てや日常的な悩み、不安を相談できる場や人が必要と考える人も多いことが分かりました。実行委員会では、これから赤沢全体のアンケート結果をまとめ報告会を開催する予定です。

★トヨタ財団のサポートを受け、地域の現状をさらに深堀り

本年度は、（公財）トヨタ財団の国内助成プログラム「しらべる助成」を活用し、地域の現状をさらに深堀りしていく予定です。

暮らしのアンケートの結果から見えてきたことの一つに、農地や農業後継者の問題があります。赤沢地区住民の3人に1人は農業従事者でありながら、その多くは高齢化しており、地域の主要産業である農業の将来が懸念されています。

実行委員会では、農地や農業後継者の問題にテーマを絞ってさらに調査を行い、近未来の赤沢地区の農業の姿を可視化することを目指しています。さらには、農業と地域の持続的な発展に寄与するための新たな方策を検討していきます。

▼実行委員会の詳細はフェイスブック「KOMABAテラスプロジェクト」で検索

ワークショップを通じて皆さんの大切な思いが集まりました

図:アンケートから見えた重点的取り組み

■問合せ　企画課 地域開発室　☎672-2111 内線2320

みんなの笑顔咲く 令和初の紫波夏まつり

第48回紫波夏まつりが、8月10日に紫波運動公園と日詰商店街で開催されました。午後4時に屋台村がオープンし、紫波運動公園では紫波一中吹奏楽部の演奏を皮切りに、ＰＬ岩手ＭＢＡによる演技、佐比内金山太鼓による迫力あふれる演奏が披露されました。日詰商店街では日詰かじ町さんさやさんさ好みによる踊りが披露された後、8団体、総勢約300人が一つの大きな輪になっての盆踊りが行われました。まつりの最後は、皆さんお待ちかねの花火大会。約4000発が打ち上げられ、例年を大きく上回る約1万8000人が運動公園を埋め尽くし、にぎわいました。

紫波町職員互助会

紫波町交通安全母の会

紫波総合高校PTA・郷土芸能部

日詰14区女性部

日詰かじ町さんさ

紫波町連合婦人会

紫波町議会政務調査会

紫波町商工会女性部

盆踊り団体

ステージ出演団体

紫波一中吹奏楽部

PL岩手MBA

日詰かじ町さんさ

さんさ好み

佐比内金山太鼓

紫波まつり実行委員会からの御礼

このたびは、第48回紫波夏まつりへのご協賛・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

毎年、紫波総合高校の生徒の皆さんによるボランティアや、紫波第一中学校全校生徒と職員の皆さんのフェスティバクリーンによる清掃活動などで多大なるご協力をいただいています。紫波夏まつりに関わる全ての皆さんに心より感謝申し上げます。

今後とも、紫波夏まつりに対しまして、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

インタビュー

紫波総合高校ボランティア
小原 愛衣さん（3年）、髙橋 菜那さん（3年）、佐々木 知子さん（2年）

夏まつりの募金活動を手伝っています。声を出すのが大変ですが、子どもたちも協力してくれてやりがいを感じます。運営スタッフの大変さを知ることができました。

法領田 浩輔さん、瑞子さん、梓馬（あずま）くん、湊（みなみ）美ちゃん（盛岡市）

毎年、お祭りの雰囲気を味わいに来ています。花火だけでなくステージイベントや出店、花火などが一つの会場で行われ、年齢問わず楽しめるお祭りだと思います。

テントレイル2019

10月6日㊐

ラ・フランス温泉館 多目的グラウンド

午前9時30分スタート!

※一般の部（親子ペアの部は午前10時スタート）

今年で2回目となる「あづまねマウンテントレイル」が、10月6日（日）に開催されます。今年も町内外から多くのエントリーがあり、「一般の部」は約200人、新設された「親子ペアの部」には約30組60人が参加します（競技の参加申込は締め切りました）。

一般の部は、東根山の登山道「蛇石コース」、「猫の背コース」をまわる1周約13ｋｍのコース。トレイルランニングの初心者が挑戦しやすい距離ながら、午前8時から、入場無料の「あづまねジャンボリー」を同時開催。競技が終わった後や、応援に訪れた人も、会場で楽しく過ごせます。スタート見送り後は、出場者が次々にラ・フランス温泉館のゴールに向かってくるお昼前後が競技のクライマックス。お見逃しなく！

応援しながら、アウトドアな一日を楽しもう！

［競技スケジュール］

【同時開催】
あづまねジャンボリー
午前8時～午後4時

午前6時30分	駐車場入場開始
午前7時～9時	出場者受付
午前9時15分	開会式
午前9時30分	一般の部スタート
午前10時	親子ペアの部スタート
午前11時	親子ペアの部制限時間
午後1時	表彰式
午後1時30分	一般の部制限時間

事務局・永井尚子さん
（地域おこし協力隊）

事務局・安達隆太さん
（地域おこし協力隊）

無料シャトルバスを運行します！

当日は、紫波中央駅から会場までの無料シャトルバスを運行します。9ページに掲載している**「デマンド型乗合バス実証実験」**や、ラ・フランス温泉館の0円バス（毎日運行・要予約）もご利用いただけます。

［無料シャトルバス］

◎往路
紫波中央駅発→ラ・フランス温泉館着
午前7時10分　→午前7時30分
午前8時　→午前8時20分
午前10時　→午前10時20分
午前11時30分 →午前11時50分

◎復路
ラ・フランス温泉館発→紫波中央駅着
午後3時20分　→午後3時40分
午後4時20分　→午後4時40分

大会情報はfacebookをチェック！

※駐車場のご案内について…ラ・フランス温泉館駐車場は出場選手を優先でご案内します。イベント参加者は近隣施設に誘導される場合がありますので、なるべく公共交通機関でご来場ください。（ラ・フランス温泉館利用者は、温泉館駐車場に駐車可）

あづまねマウン

林道や渡渉（としょう）、タフさが求められる登りなど、バリエーションに富んだ内容が魅力です。

スタート・ゴール会場となるラ・フランス温泉館の多目的グラウンドでは、競技に参加しない人でもアウトドアが楽しめるイベント「あづまねジャンボリー」が開催されます。トレイルランニングやアウトドアに興味がある人は、ショップめぐりを楽しめます。デイキャンプ用の特設フリーサイトでは、出店のフードを持ち込んで、家族やお友達とのピクニックをお楽しみいただけます。

秋の爽やかな1日をアウトドアで過ごす、トレイルランニングの応援にぜひお出かけください。

紫波グルメやアウトドアショップが会場に集合するよ！

〈Foods〉紫波グルメ集合！

タコライスやカレーライス、パン、アップルパイ、タピオカドリンクなど、紫波町周辺から人気のグルメが大集結。ピクニックを楽しもう。

〈Acrivities〉アウトドア体験！

幼児から乗れる「ストライダー」や、人気の「スラックライン」体験のほか、アウトドアグッズのレンタル、シューズ試し履きブースを用意しています。

〈Gears〉アウトドアグッズ！

町内アウトドアショップをはじめ、有名ショップやアウトドアグッズメーカーが多数出店。グッズ購入の相談や、商品を手にとって検討するチャンスです。

Azumane Jamboree（あづまねジャンボリー）

午前8時～午後4時（終了）
同時開催/入場無料

試飲無料！紫波のお酒ブース

紫波の地酒とワインの試飲ブースが登場。数に限りがあるのでお早めに。

日帰り温泉、宿泊もできる保養施設。評判の「美人の湯」に浸かり、疲れと汗を流そう。

一日中アウトドアで遊んだ後は、温泉入浴で疲れを癒してください。宿泊もおすすめ。

デイキャンプ特設フリーサイト！

テントやレジャーマットを持ち込んで、デイキャンプを楽しもう。（申込不要、火気使用不可、ペグは直径1cm以下）

■問合せ　あづまねイイ山イイ湯だなプロジェクト実行委員会事務局　☎672-2111　内線2211

作画:かねた丸

行ってみよう

紫波の自然と環境編❹「紫波まちピカ応援プログラム」

あれ？ 太田川の河原で、何かしている人たちがいるよ！

まちをキレイにしている人たちに会いたいにゃ！

のぼりが目印！

こんにちは！草刈りをしていたんですね！

私たちは、紫波まちピカ応援団「水辺の友の会」のメンバーです。地元古館地区での川清掃や、草刈りの活動を続けて20年以上になります。

「水辺の友の会」
代表 水本 忠夫さん

活動当初は、地元のために何かをしたいという仲間が集まって、「ホタルが飛び、サケが遡上する川に」という思いで、ごみ拾いからスタートしました。

川清掃の様子
（2013年の記録より）

川のごみをなくそう！

水本さんたちが活動を続けるうちに、川に捨てられるごみも少なくなってきたらしいにゃ！

きれいな川、きれいなふるさとで過ごしたいから、これからも活動を続けていきます！

まちの景観を守ってくれてありがとうにゃ！

平成9年から活動を続ける「水辺の友の会」。県から表彰されたこともあるほど、熱心に活動しています。代表の水本さんは「土手の草刈りによって、散歩をする人が歩きやすくなり、地域の美しい景観も守られます。今後は、地域の子どもたちと一緒に川沿いを歩いてみるイベントなども行っていきたいです」と語ってくれました。皆さんも、町の環境と景観を守る取り組みに参加してみませんか。

紫波まちピカ応援プログラム（紫波町産業部環境課）

■住所　紫波町紫波中央駅前2-3-1
■電話　☎672-2111　内線2254

12ページの「環のくに紫波」にも、「紫波まちピカ応援プログラム」の記事を掲載しています。合わせてご覧ください。

あずりん
東根山で暮らす、ねこの子ども。紫波の自然と環境を守るためなら「ねこの手を貸す」よ！
紫波のくだものが大好物！